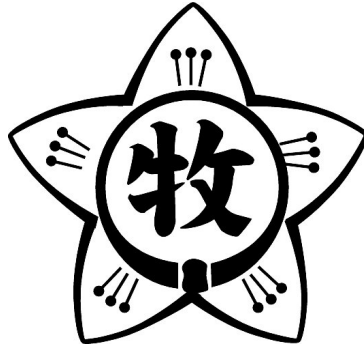


# 山梨市立牧丘第一小学校



住 所 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平1200

電 話 0553-35-2015

F A X 0553-35-3292

メー ル [maki1@school-yamanashi.jp](mailto:maki1@school-yamanashi.jp)

# 沿革

明治	6年	室伏学校設立
	7年	袖口学校設立 窪平学校設立
	20年	諏訪尋常小学校に合併
	25年	室伏, 窪平, 袖口尋常小学校に分離
	40年	諏訪高等小学校を室伏尋常小学校に併置
大正	12年	四校合併し諏訪尋常高等小学校となる
昭和	8年	現在地に新校舎落成（10月21日）創立記念日
	16年	諏訪国民学校と改称
	17年	町制施行により諏訪町立諏訪国民学校と改称
	22年	六三制施行により諏訪町立諏訪小学校と改称
	23年	柳平分校校舎開設
	27年	柳平分校校舎落成
	29年	町村合併により牧丘町立牧丘第一小学校と改称
	33年	袖口分校廃止 完全給食開始
	34年	校舎落成
	38年	プール完成
	39年	牧丘第一小学校校歌制定
	46年	校旗樹立
	49年	プール浄化装置完成 放送施設更新
	53年	校舎夜間照明施設完成
	55年	柳平教員住宅完成
	58年	新校舎及び屋内運動場起工式
	59年	新校舎及び屋内運動場竣工式
	59年	柳平分校起工式 同竣工式
	60年	体育庫完成 外便所完成
	61年	校庭排水工事完成 フレーム完成 小鳥小屋完成 マーチングバンドが文化賞・大宮山賞を授賞
62年	学校無人化に伴う警備設備設置	
63年	体育館屋根修理 校庭水路工事完了 校庭西側防球ネット設置	
	元年	柳平分校校庭土止め工事
	2年	講堂内部改修 郷土学習冊子「子に孫に、語り継ぎたい地域の話」を発刊

平成	3年	校庭南側出入り口に安全防護柵設置 分校玄関前 階段の改修 マーチングフェスティバル県大会金賞 関東大会最優秀賞授賞 パーソナルコンピューター設置
	4年	学校農園開設 飼育小屋完成
	5年	ボランティア活動普及協力校の指定
	6年	プール改築, パソコン教室新設
	7年	プール温水シャワー設置 保健室エアコン設置
	9年	「栄養教育推進地域モデル校」文部省指定
	10年	水道滅菌機設置 給食食器消毒保管庫購入
	11年	文部省指定「栄養教育」公開研究発表
	12年	給食用パソコン文部省研究指定最終年度
	13年	文部科学省「栄養教育モデル事業」全国表彰 ボランティア普及協力校県指定
	14年	地域ふれあい道德教育推進校
	15年	はつらつ農業担い手確保育成啓発事業推進校
	16年	体育館屋根改修 16・17年度独立行政法人日本スポーツ振興センター委嘱 交通安全教育推進地域指定校
	17年	市町村合併により「山梨市立牧丘第一小学校」と改称
	18年	心に元気をはぐくむ道德教育推進校 二学期制へ移行 山梨市小中連携推進校
	19年	幼・保・小連携、小・中連携推進事業 柳平分校休校 門扉工事完了
	20年	幼・保・小連携、小中連携推進事業
	21年	校舎屋上防水工事及びソーラー発電システム設置工事 普通教室地上デジタルテレビ設置、電子黒板、校内LAN改修導入
	22年	22・23年度伝統文化教育実践研究指定校 「国立教育政策研究所」山崎直子さんが宇宙から持ち帰ったアサガオ の種から開花
	23年	学校給食を民間委託 (ニコトラスト) コモンスペースにペレットストーブを設置
24年	県環境教育保全活動表彰 トイレ全面改修	

# 経営の概要・特色

## 1 学校教育目標

基本的な生活習慣を身につけ、自らの意志で学び、心豊かにたくましく生きる子どもの育成に努める。

## 2 具体的目標

- ま 学び合う子ども
- き 決まりを守る子ども
- い 生命を大切にする子ども
- ち 力強くたくましい子ども

## 3 学校経営方針

- (1) 学校教育指導重点の趣旨を踏まえ、職員共通理解の中で教育目標の具現化に努める
- (2) 児童の実態や地域に根ざした特色ある教育課程の編成の創意工夫に努める
- (3) 基礎的・基本的内容の確実な定着のため、個に応じたきめ細かな指導に努める
- (4) 信頼される学校づくりのため、家庭、地域と連携し開かれた学校づくりに努める
- (5) 信頼し合い、磨き合い、協力し合う、明るく活気ある職場づくりに努める

## 4 学校経営の努力点

- (1) 学習意欲を高める学習指導の改善に努める
  - ① 基礎基本の確実な習得・定着に努める
  - ② 総合的な学習の時間を中心に探求活動の充実に努める
  - ③ 英語科教育の推進に努める
  - ④ さわやかタイムの有効活用に努める
  - ⑤ 学習規律の定着に努める
  - ⑥ 補習授業の充実に努める
  - ⑦ 家庭学習の定着に努める

(2) 豊かな心を育成する指導に努める

- ① 適切な児童理解に基づいた指導による、いじめ・不登校の撲滅に努める
- ② 道徳授業を中心に、全教育活動の機会を捉えて道徳的実践力の育成に努める
- ③ 命を大切にする教育の充実に努める
- ④ あいさつ運動や花いっぱい運動、清掃・美化活動の充実に努める
- ⑤ 歌声活動の推進に努める
- ⑥ 異年齢縦割り集団活動の充実に努める

(3) 基本的な生活態度の育成と健康安全や体力の向上をめざした取り組みの充実に努める

- ① 保護者と連携しながら基本的な生活習慣の定着に努める
- ② 一校一実践計画の実施等運動の日常化に努める
- ③ 健康安全教育計画の着実な実施に努める
- ④ 食に関する指導計画の着実な実施に努める
- ⑤ 創意ある、工夫された体育的行事の実施に努める

(4) 環境教育、福祉教育、国際理解教育、情報教育、キャリア教育、特別支援教育の推進に努める

(5) 信頼される開かれた学校づくりに努める

- ① 地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域の人々から学ぶ学習活動の実施に努める
- ② 家庭・地域との連携に努める
- ③ 保護者・地域の人々が参加する教育活動の工夫に努める
- ④ 地域の保育園・中学校との交流に努める
- ⑤ 安心安全な学校環境づくりや防災・防犯の意識や能力を高める指導に努める
- ⑥ 学校の様子を知らせ、家庭・地域の声を聞く場の設定に努める

# 研究の概要

## 1 研究主題

「学び合い、考えを深め、高め合う子どもの育成」  
～子ども同士の対話的コミュニケーション活動を通して～

## 2 主題設定の理由

近年、知識基盤社会の到来やグローバル化の進展など急速に社会が変化する中、変化に対応する能力や資質が一層求められている。また、国内外の学力調査結果などから、わが国の子ども達には、思考力・判断力・表現力等に課題が見られることが明らかである。新学習指導要領では、改訂の基本的な考え方として「生きる力」という理念の共有をはじめ6つの項目が掲げられている。その中に、思考力・判断力・表現力の育成があり、これらの力を育むためにも言語活動の充実が強調されている。学力は、対話的な活動やコミュニケーションなどのつながりから形成され、子ども自身が疑問に思ったり考えたり、挑戦したりする過程を通じて身についていく。学校生活で、意識的に言語活動やコミュニケーションが育つ集団づくりをすることによって、学力が身についていくであろう。

これらの今日的課題と本校の教育目標である「基本的習慣を身につけ、自らの意志で学び、心豊かにたくましく生きる子ども」の具現化を考えると、まさに言語活動を通じて積極的に学び合い、思考し、高め合う子どもの育成が求められていると言えるだろう。

昨年度までの2年間の研究を進める中で、学び合う授業の前提として、「みんなで聴き合う」「みんなで認め合う」学級集団づくりが大切であることが明らかになった。子どもたちが、自分の考えを安心して表出するためには、それを支える「聴き合う学級集団」が存在しなくてはならない。また、学習意欲を高め学び続けるためには、「認め合う学級集団」でなくてはならない。授業を通して学級づくりをすることは当然だが、学級活動、さらに学校生活全体を通して意図的・計画的・継続的に学び合う集団づくりを推進していく必要がある。聴く力を高めることは、コミュニケーション活動を円滑に進める上でも考えを深め合う上でも重要な要素である。

昨年度には、学年に応じた目ざす子ども像（話す力・聴く力）を具体的な形

にまとめ、日常の取り組みとして実践することにより、授業の中だけでなく、学校行事や集会、朝や帰りの会などの場面でも聴き手を意識して話すことや聴く姿勢を育てることができた。

本年度は、昨年度までの取り組みにおける成果と課題を踏まえ、学校生活全体において言語活動＝対話的コミュニケーション活動を積極的に取り入れ、共に学び合い高め合う子どもの育成を進めるとともに、学級づくりのための効果的な取り組みや、対話的コミュニケーション活動を学力向上につなげられるような授業の工夫もしていきたいと考え、本主題を決定した。

### 3 研究仮説

- ・児童の実態の応じて学び合いの場面設定を工夫し、子ども同士の聴き合う関係に基づく対話的コミュニケーション活動を授業に取り入れることによって、学び合い、考えを深め、高め合う子どもが育つであろう。
- ・対話的コミュニケーションによる共同的な学びを通して、学びの質が向上し、学ぶ意欲や学力が向上していくであろう。

### 4 研究の具体的内容と方法

#### (1) 研究の内容

##### ア 対話的コミュニケーション活動を取り入れる取り組み

- ・理論研究、講師を招聘しての学習会を実施する。
- ・算数科の活用問題への取り組みを中心に、全教育活動での場や方法、内容を工夫する。
- ・実践例のストック（実践カード）
- ・実践を公開し合う中で、授業力を高める。

##### イ 学習環境づくり

- ・学級力づくり…Q-U テストの活用、学級力向上プロジェクトの活用
- ・学習習慣の確立…学習規律の徹底→学級、学校全体（聴く力）  
…家庭学習（家庭との連携 等）

#### (2) 研究の方法

- ア 全体会、ブロック（低学年・高学年）の2部会により研究する。
- イ 学校生活全体で、対話的コミュニケーション活動に取り組む。

- ウ 児童の変容を見取る検証方法について検討する。
- エ 伝え合う力を付けていくための具体的な手立てや，子ども同士が活発に討議できるような授業の工夫を考える。
- オ ブロックで全体研授業を設定する。（指導主事招聘）
- カ 一人一実践の授業公開を行う。（実践紹介）



## 学校行事

主な学校行事			
4	入学式 始業式 健康診断 家庭訪問 1年生を迎える会	10	観劇教室 授業参観・学年部会 学校創立記念日(21日) 子ども祭
5	避難訓練 児童総会 授業参観 PTA総会 学年部会 春の校外学習(1,2年生) 山梨市陸上記録会	11	県外学習(5年生) スケート教室(3,4年生) 校内マラソン大会 芸術鑑賞会 東山梨音楽発表会参加(4年生)
6	修学旅行(6年生) 春の校外学習(3年生) 土曜参観 引き渡し訓練 クリーンアクション プール開き 自然教室(4,5年生)	12	避難訓練 個人懇談 2学期終業式 冬季休業
7	バイキング給食 1学期終業式 夏季休業	1	3学期始業式 校内書き初め大会 児童会役員選挙
8	2学期始業式 夏休み作品展 校内水泳記録会及び自由参観	2	スキー教室(5,6年生) 児童総会 授業参観・学年部会 6年生を送る会
9	避難訓練 山梨市水泳記録会 縦割り給食 運動会	3	卒業バイキング給食 卒業式 修了式 離任式

## 学年・全校児童数

平成 26 年度学年・学級児童・家庭数一覧				
学年	男子	女子	合計	家庭数
1年	12	3	15	6
2年	9	7	16	11
3年	11	7	18	12
4年	12	4	16	13
5年	14	9	23	23
6年	14	6	20	20
全校合計	72	36	108	85